

「岸和田再発見」記念講演会

岸和田の幕末・維新もおもしろい

～大河ドラマ「八重の桜」と岸和田～

NHK大河ドラマ『八重の桜』の主人公である新島襄・八重夫妻が、岸和田に訪れキリスト教の伝道活動を行っていたこと、その後も岸和田の山岡家と家族ぐるみの付き合いがあったこと、そして、そのきっかけをつくったのが岸和田の最後の藩主・岡部長職であったことを知っていますか。

図書館(本館)の「岸和田再発見コーナー」では、『八重の桜』に描かれる幕末・維新の時代を岸和田藩の動向と合わせて紹介しています。いっしょに学びませんか。

◆ 幕末の岸和田騒動と最後の藩主

講師 山中 吾朗 氏(岸和田市郷土文化室)

ペリーが浦賀に現れる4ヵ月前、吉田松陰は藩校講習館の相馬九方に会うために岸和田を訪れ、熱い議論を交わしました。その翌年、岸和田沖にもロシアの艦隊が…。その頃から、岸和田藩は家督相続問題と勤皇派・佐幕派の争いが絡み合う「岸和田騒動」に発展。ようやく新たな藩主が就任した時には、既に明治の新しい時代の幕開けが…。幕末の岸和田藩の動向を話していただきます。

◆ 岸和田と福島との新たな絆

講師 渡邊 真紀湖 氏(「コットンプロジェクト福島」代表)

東日本大震災と原発事故、さらに放射能の風評被害…。たび重なる苦難に出会いながら、新たな活路を切り開くために奮闘する福島県の人々。その中で岸和田との新たな出会いが…。タテ糸に岸和田の綿、ヨコ糸に福島の綿を織りなして創作した手ぬぐいが誕生しました。

福島の地で、農家の人たちと共に綿花栽培から各種の製品をめざし、コーディネート役として活躍している渡邊さんに、福島の現状や思いを伝えていただきます。

日時 3月28日(木) 午後2時～4時

場所 岸和田市立図書館(本館)3階視聴覚室

定員 40名(申込先着順)

申込 図書館に直接または電話でお申込みください。

主催 岸和田市立図書館 岸和田市岸城町1-18

電話 072-422-2142